

平成26年度

事業報告書

社会福祉法人 たけるの里

はじめに ～平成26年度の主な動き～

平成26年度は、今後の法人の基盤となる土地の自己所有を目指し、情報収集から候補物件があれば視察を行うなど具体的な動きの中、大黒地域に念願であった約400坪の土地を購入することが出来た。

【通所サービス 生活介護・就労継続支援B型】

- 利用者の土曜日、日曜日、祝日等の過ごし方のニーズに応じ、平成24年度より祝日開所を実施したが、さらに平成26年度より土曜日の開所を実施した。
- サービス等利用計画の策定にスムーズに対応出来るよう、サービス管理責任者を生活介護あすかに1名、生活介護たちばなに1名、就労継続支援B型に1名を新たに配置した。
- 職員研修の実施と現場支援員との懇談を実施し、職員の業務の課題整理とスキルアップを図った。
- 平成26年度当初は新規利用希望がなかったが、6月より在宅の方が生活介護あすかにて週3日の体験利用を重ね8月5日より新規利用者となった。また、医療機関にから退院された方が、体験的な利用を重ね10月1日より新規利用者となった。さらに、3月に支援学校を卒業された方が生活介護あすかに1名、生活介護たちばなに2名（4月1日にさらに1名）新規利用者となっている。

【居住サービス 共同生活援助（グループホーム）】

- 平成26年度よりケアホーム・グループホームの一元化に伴い、8月より巣立ちの家 さくらの夜勤体制の強化（宿直から夜勤）を図った。12月からは巣立ちの家 はびきの から他住居（野々上、藤井寺、なのはな）への夜間巡回を実施した。
- 8月に女性用グループホーム 巣立ちの家 なのはな を開設し1名の入居者で開始したが、3月に体験入居を実施し後に新規入居となった。
- 業務の効率化を図るため、9月1日よりグループホームの管理者を変更した。

平成24年10月に障害者虐待防止法施行、平成25年に障害者差別解消法の成立（平成28年4月施行）など国内法の整備が推進され、そして日本は平成26年1月に障害者権利条約を批准した。このような流れの中、たけるの里として「障がいがある人もない人も、地域でいきいきと生きる」との基本理念の実現に近づくよう、新たな土地を最大限に活用していくための検討を重ねるとともに、利用者の立場に立った事業運営を心がけるために、人権感覚を育むとともに支援技術の向上を図ることが大切と考える。

1. 基本方針

障がいのある人たちの豊かな地域生活を支える多様な障がい福祉サービスの供給主体として、ひとりひとりの利用者の自立の促進、自己決定、意向を尊重し、総合的にサービス提供できるよう創意工夫し安心できる地域生活を営むことができるよう支援していく。

2. 平成26年度重点方針

(1) 非常災害対策の質の向上

日常的な点検の実施と避難訓練日にも項目を設けて避難時持ち出し品等点検を実施。引き続き、グループホームの家具転倒防止策を講じていく。

(2) 衛生管理、感染症予防対策の徹底

外部研修の参加者による、内部研修を実施し職員全体に基本的な知識の習得と、利用者、職員とも出入りの際の手洗いの励行を実施した。担当者を定め定期的にトイレ等の消毒を実施した。

(3) 人権意識の向上

平成26年度にむけて前年度末に「権利擁護と虐待防止」「障害者権利条約」とのテーマで支援員に対し内部研修を実施した。また朝礼、会議等の機会に基本的な支援の在り方を徹底し意識の向上を図った。

3. 監事監査・理事会・評議員会の開催

開催日程	内容	主な議事
5月16日(金)	監事監査	<ul style="list-style-type: none">平成25年度事業報告(案)について平成25年度決算報告(案)について
5月20日(火)	第48回理事会 第42回評議員会	<ul style="list-style-type: none">平成25年度監事監査報告について平成25年度事業報告(案)について平成25年度決算報告(案)について施設整備等積立金、人件費積立金の増額について平成26年度補正予算についてグループホームの新規開設について特定相談支援事業の開設についてグループホーム就業規則の変更と追加について巣立ちの家 運営規程の変更について法人の動きについて(青少年センター購入交渉)AEDの新規購入についてパソコン、レーザープリンター、会計ソフトの購入について

8月 8日 (金)	第49回理事会 第43回評議員会	<ul style="list-style-type: none"> 土地購入（大黒地域）について、福祉施設等施設整備の国庫補助金の申請について 巣立ちの家 管理者の変更について
11月18日 (火)	第50回理事会 第44回評議員会	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度上半期事業報告（案）について 平成26年度中間決算（案）について 大黒地域土地購入（案）について 巣立ちの家はびきの夜勤体制について
3月 3日 (火)	第51回理事会 第45回評議員会	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度事業計画（案）について 平成27年度予算（案）について 大黒地域土地購入の報告について 法人役員の選任について あすか運営規程の変更について

4. 障害者総合支援法に基づく事業（指定障がい福祉サービス事業）

通所サービス部

主たる事業所 あすか・従たる事業所 たちはな

（生活介護）

●運営方針

利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、排せつ及び食事の介護、創作的活動又は生産活動の機会の提供その他の便宜を適切かつ効果的に行うものとする。

●事業所利用定員と利用状況（開所日数＝サービス提供し報酬算定をした日数）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
あすか	利用定員	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	
	契約利用者数	25	25	25	25	25	25	26	26	26	26	26	26	
	開所日数	22	21	22	23	18	22	23	20	21	20	20	22	254
	延利用数	522	485	508	527	406	519	567	486	502	474	483	532	6011
	1日平均	23.7	23.1	23.1	22.9	22.6	23.6	24.7	24.3	23.9	23.7	24.2	24.2	23.7
たちはな	利用定員	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	
	契約利用者数	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	23	
	開所日数	22	21	22	23	18	22	23	20	21	20	20	22	254
	延利用数	410	374	390	410	324	394	418	352	353	355	335	422	4537
	1日平均	18.6	17.8	17.7	17.8	18.0	17.9	18.2	17.6	16.8	17.8	16.8	19.2	17.9

※1) 開所日数について8月9日(土)は、台風接近で休所したため計画より一日減となった。

※2) 生介たちばなの2名の利用者が、著しく利用頻度が低い状況が続いている。

※3) 契約利用者数について、次のとおり変動があった。

- ・ 7月31日、生介あすか退所者1名。
- ・ 8月5日、生介あすかへ新規利用者1名。
- ・ 10月1日、生介あすかへ新規利用者1名。
- ・ 3月9日、生介たちばな新規利用者1名。
- ・ 3月10日、生介たちばな新規利用者1名。
- ・ 3月30日、生介あすか新規利用1名。
- ・ 3月31日、生介あすか退所者1名。

● 障害支援区分別延利用者数

	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
あすか	0	1152	1833	2002	1024
たちばな	166	382	845	1763	1381
合計	166	1534	2678	2405	10548

※8月から区分3の利用者1名(50歳以上)が区分2へ変更となった。

● 事業所における職員の職種と員数(平成27年3月現在)

- (1) 管理者 1名 サービス管理責任者兼務
- (2) サービス管理責任者 3名 管理者兼務1名、あすか・たちばな生活支援員と運転手兼務2名
- (3) 生活支援員
 - あすか 10名 サービス管理責任者と運転手兼務1名、運転手兼務3名含む
 - たちばな 7名 サービス管理責任者と運転手兼務1名、運転手兼務2名含む
- (4) 看護職員 1名 あすか・たちばな兼務
- (5) 医師 1名 あすか・たちばな兼務
- (6) 運転手
 - あすか 4名 サービス管理責任者と生活支援員兼務1名、生活支援員兼務1名、就労B型職業指導員兼務1名、就労B型・たちばな生活支援員兼務1名
 - たちばな 4名 サービス管理責任者と生活支援員兼務1名、生活支援員兼務2名、就労B型生活支援員1名

● 事業内容

- (1) 生活介護サービスの提供
- (2) 利用者負担額の請求・受領業務
- (3) 介護給付費請求・受領業務

●サービスの内容

(1) 個別支援計画の作成

サービスは、「個別支援計画」に基づいて行う。サービス管理責任者が作成し、利用者の同意をいただく。なお、「個別支援計画」は利用者に交付する。

- ・4月、10月に面談を行いアセスメントから課題やニーズを収集し、サービス管理責任者が利用者、保護者の同意のもと個別支援計画を作成しサービスを提供した。

(2) 介護や日常生活能力の維持・向上のための支援

利用者の状況に応じて適切な技術を持って食事・整容・更衣・排泄等生活全般にわたる援助を行う。また日常生活能力の維持、向上のための支援や各種実習を行う。

- ・日常生活動作（歯磨き、手洗い等）の基本動作や利用者の係・当番を編成し、朝礼、終礼の進行や清掃、昼食の配膳、食器洗い等を体験しながら、生活に主体的に参加できるよう支援した。
- ・次の各種実習を実施した。（実績参照）
 （あすか） エアロビクス（希望制G活動）・音楽教室（希望制G活動）
 （たちばな）エアロ&リラク・買物&外食実習（希望制G活動）・音楽教室・絵画教室・書道教室（希望制G活動）
- ・自閉症支援の訪問コンサルタントを（6月30日、10月17日、1月23日、3月20日）導入し、また専門性の高い研修の受講を受け利用者支援の充実を図った。課題の解決に向け、今後も継続的に支援を重ねていく必要があるも、一定の成果は得られた。

(3) 生産活動の機会の提供

個々の能力にあった作業を見出し目的意識を持った行動を経験する事で、社会に貢献する喜びや意欲を広げていくため軽作業等の生産活動の機会を提供する。

- ・次の生産活動を実施した。
 （あすか）

生産活動班名	NK・タオル班
受注企業 納品先名	① NKプロダクツ ② 松井加工所
利用者	9名（男性6名、女性3名）
活動（作業）内容	① NKハンガーの組み立て ② タオル折り・値札付けと梱包
単価	① NKハンガー（6本1組）：10円 ② タオル折り：2～4円
生産活動班名	ゴームパッチン班
受注企業 納品先名	① (有)オーエムクリエイティブ ② (有)ナカイ
利用者	16名（男性6名、女性10名）

	※7月31日で男性1名減、8月5日女性1名増
活動（作業）内容	① ゴームパッチンハンガーの組み立て ② のりのキャップ閉めと袋入れ
単価	① ゴームパッチンハンガー（1本）：1.2円 ② ボンド（1本）：1.15円 のり 1.2円

（たちばな）

生産活動班名	ハンガー班
受注企業 納品先名	(株)NKプロダクツ
利用者	4名（男性1名、女性3名）
活動（作業）内容	① ハンガーの組み立てと梱包 ② ザブザブボール袋入れと梱包
単価	① デイズスラックスハンガー：5円 デイズジャケットハンガー：3円 クリップハンガー：6円 ② ザブザブボール（4P：2円）
生産活動班名	セットビス班
受注企業 納品先名	寺崎電気産業(株)
利用者	5名（男性3名、女性2名）
活動（作業）内容	① ボルトナットの組み立て ② PP碍子の組み立て
単価	① ボルトナット（1個）：1.73円 ② PP碍子（1個）：1.73円
生産活動班名	アサヒA・B班・C班
受注企業 納品先名	アサヒサイクル(株)
利用者	A班：5名（男性5名）B班：4名（男性2名、女性2名）C班3名（男性2名、女性1名）
活動（作業）内容	自転車部品の組み立てと梱包作業
単価	全種類（1個）：3円 シール貼りのみ（1個）：2円

（4）レクリエーションや創作的活動

心身のリフレッシュと利用者どうしの交流を図るとともに、社会性を養い、意欲向上をめざしレクリエーションや創作的活動の機会を提供する。

- ・レクリエーションや創作的活動の機会を提供した。（実績参照）

（5）相談援助

利用者及びその家族が希望する生活や利用者の心身の状況等を把握し、適切な相談、助言、援助等を行う。

- ・面談の際、ご家族の要望など様々な相談に応じる機会となった。

(6) 訪問支援

常時サービスを利用している利用者が、心身の状況の変化等により、5日以上連続して利用がなかった場合は、あらかじめ利用者の同意を得て、居宅を訪問してサービス利用に関する相談支援を行う。(月2回を限度とする。)

- ・随時、利用者の状況把握のため訪問を実施した。また、通所利用が安定しない利用者本人やご家族と懇談するため訪問を実施した。(算定は行っていない)

(7) 健康管理

日常生活上必要なバイタルチェックや投薬その他必要な管理、記録を行う。また医療機関との連絡調整及び協力医療機関を通じて健康保持のための適切な支援を行う。

- ・看護職員による健康チェック(週1回)を実施した。
- ・定期内科検診(年11回)を実施した。
- ・希望制で歯科指導(月2回)を実施した。
- ・運動の機会の提供として、あすかでは施設前の遊歩道を活用し、たちばなでは陵南の森敷地内を活用し散歩を実施した。食事面については仕出し弁当の量を家族と相談して調整をすることや、外出の際の食事の内容を配慮した。
- ・あすかでは希望制で心身のリラックスや健康維持等を目的に、スーパーバイザーを招いて臨床動作法(月2回)を実施した。
- ・11月26日(水)希望者実費負担でインフルエンザ予防接種を実施した。
- ・1月28日(水)恵生会病院の訪問による健康診断を実施した。
- ・2月10日(火)羽曳野市の制度を活用し婦人病検診付き添い支援を実施し、7名の対象者中、4名が受診された。

●土曜、祝日等の開所について(参加数と契約利用者数割合)

日 程	内 容	生介あすか参加数	生介たちばな参加数
4月29日(火祝)	生産活動	20名(80%)	16名(76%)
5月 6日(火祝)	生産活動	19名(76%)	16名(76%)
6月28日(土)	生産活動	17名(68%)	16名(76%)
7月21日(月祝)	共同制作会	20名(80%)	13名(62%)
8月 9日(土)	台風接近のため休所		
9月15日(月祝)	生産活動	23名(92%)	17名(81%)
9月23日(火祝)	生産活動	21名(84%)	17名(81%)
10月11日(土)	フレスポ2014	25名(96%)	18名(86%)
11月 3日(月祝)	レクレーション大会・生産活動	23名(88%)	16名(76%)
11月24日(月祝)	生産活動	24名(92%)	16名(76%)
12月23日(火祝)	芸術鑑賞交流会	22名(85%)	17名(81%)
12月27日(土)	大掃除・生産活動	20名(77%)	17名(81%)

1月12日（月祝）	生産活動・交通安全教室	19名（73%）	18名（86%）
2月28日（土）	エアロ・音楽発表会	20名（77%）	17名（81%）

※9月23日（火祝） 飛遊クラブ フライングディスク大会に参加依頼があり、生活介護あすかより5名参加。上記21名に含む。

※10月5日（日）ふれあいフェスタ 算定なし。

●苦情処理

苦情受付担当者を設け、担当者がいない場合でも利用者の状況を詳細に把握するよう相談苦情管理対応シートを作成し、担当者に確実に引き継ぐ体制を敷く。

苦情受付担当者（あすか） 高橋 亘（たちばな）堀内 克弥

苦情解決責任者（あすか） 西井 寛（たちばな）西井 寛

・苦情はありませんでした。

●事故・ヒヤリハット

主任がリスクマネージャーとして、職員会議で検証し事故防止対策を講じていく。

・報告件数

（あすか） 事故 4件 ヒヤリハット 3件

（たちばな） 事故 2件 ヒヤリハット 1件

あすか（就労継続支援B型）

●運営方針

利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことが出来るよう、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行うものとする。

●事業所利用状況（開所日数＝サービス提供し報酬算定をした日数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用定員	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
契約利用者数	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	9	9	
開所日数	22	21	22	23	18	22	23	20	21	20	20	22	254
延利用数	196	190	205	209	168	209	220	193	197	189	176	193	2345
1日平均	8.9	9.04	9.3	9.08	9.33	9.5	9.56	9.65	9.38	9.45	8.8	8.8	9.23

※1）開所日数について8月9日（土）は、台風接近で休所したため計画より一日減となった。

※2）契約利用者数について、次のとおり変動があった。

・1月23日、就労により退所者1名。

※3）体験利用について

・3月に9日間の体験利用者1名。（上記の表に含めず）

・障害支援区分別延利用者数

	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
合計	9	1506	589	250	0

●事業所における職員の職種、員数（平成27年3月現在）

- (1) 管理者 1名
- (2) サービス管理責任者 1名
- (3) 職業指導員 1名 運転手兼務
- (4) 生活支援員 3名
- (5) 看護職員 1名 あすか・たちばな兼務
- (6) 医師 1名 あすか・たちばな兼務
- (7) 運転手 2名 職業指導員兼務1名、たちばな生活支援員兼務1名

●事業内容

- (1) 就労継続支援B型サービスの提供
- (2) 利用者負担額の請求・受領業務
- (3) 訓練等給付費請求・受領業務

●サービスの内容

(1) 個別支援計画の作成

サービスは、「個別支援計画」に基づいて行う。サービス管理責任者が作成し、利用者の同意をいただく。なお、「個別支援計画」は利用者に交付する。

- ・4月、10月に面談を行いアセスメントから課題やニーズを収集し、サービス管理責任者が利用者、保護者の同意のもと個別支援計画を作成しサービスを提供した。

(2) 身体等の介護

利用者の状況に応じて適切な支援を行う。

(3) 就労に必要な知識、能力を向上するための支援

一般就労に必要な知識、能力向上のための必要な訓練を行う。またその便宜を適切かつ効果的に行う。

- ・日常的な言葉遣い・挨拶・マナーを習得できるよう場面（入・退室の際の挨拶など）、毎に機会を提供した。
- ・タイムスケジュールに沿って活動し、作業と休憩のメリハリをつけて意識向上に努めた。
- ・集中して作業に取り組めるよう、個々に応じた作業環境を設定した。
- ・個々の課題点から就労に必要な知識や技術を模索し、本人に助言を行った。

(4) 就労の機会の提供及び生産活動

軽作業等の生産活動・一般就労に向けた訓練活動の機会を提供する。

- ・作業等の生産活動の機会を利用者の状況に合わせ提供する。
- ・個々に応じた労働内容を提供しつつ、個別に生産高を確認できるようにしながら協力体制も取る事ができるよう作業工程を設定した。
- ・事業所外でも就労訓練を行い、社会環境の中での労働環境を提供することにより外で働く意欲を引き出す機会とした。
- ・次の就労訓練を実施した。

(ア) 事業所内就労訓練

作業事業名	洋菓子事業
受注先・納品先名	① 羽作連アンテナショップ 道の駅 たける館（しらとりの郷） ② 羽曳野市立はびきのコロセアム内 喫茶 エポック ③ 里山の会（喫茶白い家） ④ その他企業（中元・歳暮） ⑤ 個人客、地域バザーの出店
配置人員	利用者：製造3名+配送・営業5名（兼務3名） 支援員：製造1名、配送1名
業務内容	ア) 新規商品開発 イ) PB 商品製造 ウ) 納品書・領収書の伝票記入訓練 エ) 請求業務（請求書記入訓練） オ) 各顧客への配送 カ) 接客・マナー訓練 担当者業務：売上×業務 配送サービス業務（2回/週）配送無料
商品単価・販売価格	ミックスクッキー：220円 ラスク：220円 マドレーヌ・チョコマドレーヌ：各120円 プレーン・抹茶・チョコチップクッキー：各220円 ギフトセット：1100円・ギフトセット：2200円 食パン仲介販売 @165円（八尾市 ベーカリーえいか共同販売）
作業事業名	外注作業事業（Aグループ・Bグループ）
受注企業 納品先名	① 地域農家 ② (株)オーディン
配置人員	利用者：7名（内1名は洋菓子事務と兼務） 支援員：1名（兼務） 計：3名
業務内容	① ぶどう箱折り、パック入れ、紐くくり ② 日用品等の組み立て及びラッピング 支援員：上記の最終チェック・集金・入金業務
単価・販売費	① 7円 ② 業務内容により変動

(イ) 事業所外就労訓練

作業事業名	外部事業 訓練生：3名（兼務）
受注企業	羽曳野市人権協議会 羽曳野市向野町会
委託現場	向野公園・霊園・モータープール 頻度：月2～3日 1日：2～2.5時間労働
配置人員	訓練生：3名 職業指導員：1名 計：4名
運営	公園：粗大ゴミの収集・プランターの除草・市有地の除草 霊園：排水溝の泥除去・空き墓地の除草 モータープール：掃き掃除・粗大ゴミ収集
業務内容	清掃員給与：時給750円×実労働時間

(5) 実習先企業などの紹介、求職活動及び職場定着の支援

公共職業安定所、障害者就業・生活支援センター等の関係機関と連携をとりながら職場実習の実施や、求職活動の支援の実施、職場定着、フォローアップ支援を行う。なお、離職の際も、訓練現場を提供する中で就労意欲を継続するよう支援する。

- ・企業において雇用契約を締結し労働（短時間含む）に取り組んでいる利用者や元利用者の連絡調整等や職場定着の支援を行った。

○スバルトータルプランニング(株) 2名 ※平成27年1月中旬より1名

(就労場所) グループホーム ひだまり

(内 容) 清掃

(雇用形態) 9時00分～12時00分 3.0時間

火曜・木曜・金曜 時給 840円＋交通費

○(株)サービスセンターマトバ 1名

(就労場所) 太子町役場

(内 容) 清掃

(雇用形態) 8時00分～10時00分 2時間

月曜～金曜 時給 840円＋交通費

○(株)ニチダン 1名

(就労場所) 大阪府立呼吸器・アレルギーセンター内調理場

(内 容) 調理補助

(雇用形態) 9時00分～16時00分 6時間

週休2日のシフト勤務 時給 840円＋交通費

○(株)サクセス 1名 ※平成27年1月26日付で雇用

(就労場所) 大阪府立大学 羽曳野キャンパス

(内 容) 校内の清掃

(雇用形態) 8時00分～15時00分(内1時間休憩) 6時間
月曜～金曜 時給 840円+交通費

(6) レクリエーション活動

心身のリフレッシュのためレクリエーションを行う。

- ・レクリエーションに参加する機会を提供した。(実績参照)

(7) 相談援助

利用者及びその家族が希望する生活や利用者の心身の状況等を把握し、適切な相談、助言、援助等を行います。

- ・就労者の一般就職に関する相談を実施した。
- ・利用者本人の生活・人間関係の不安や悩みを日常的に聞き、ストレスを緩和したり、問題を解決できるようアドバイスを行った。

(8) 訪問支援サービス

常時サービスを利用している利用者が、心身の状況の変化等により、5日以上連続して利用がなかった場合は、あらかじめ利用者の同意を得て、居宅を訪問してサービス利用に関する相談支援を行う。(月2回を限度とする。)

- ・随時、訪問し利用者の状況把握や相談を行った。(算定は行っていない)

(9) 健康管理

日常生活上必要なバイタルチェックや投薬その他必要な管理、記録を行う。また医療機関との連絡調整及び協力医療機関を通じて健康保持のための適切な支援を行う。

- ・看護職員による健康チェック(週1回)を実施した。
- ・定期内科検診(年11回)を実施した。
- ・希望制で歯科指導(月2回)を実施した。
- ・11月26日(水)希望者実費負担でインフルエンザ予防接種を実施した。
- ・1月28日(水)恵生会病院の訪問による健康診断を実施した。
- ・労働に集中して頂くため、体調管理・把握を行う。また、各利用者の定期通院について主治医や家族と連携をとり、体調に配慮した支援や通所支援を行った。
- ・利用者の健康維持・増進や心身のリフレッシュを図る事を目的に毎月1回、音楽教室とエアロビクスを実施した。

●祝日等の開所について（参加数と契約利用者数割合）

日 程	内 容	就日あすか参加数
4月29日（火祝）	生産活動	9名（90%）
5月 6日（火祝）	生産活動	10名（100%）
6月28日（土）	生産活動	8名（80%）
7月21日（月祝）	共同制作会	8名（80%）
8月 9日（土）	台風接近のため休所	
9月15日（月祝）	生産活動	9名（90%）
9月23日（火祝）	生産活動	9名（90%）
10月11日（土）	フレスポ2014	10名（100%）
11月 3日（月祝）	レクレーション大会・生産活動	10名（100%）
11月24日（月祝）	生産活動	10名（100%）
12月23日（火祝）	芸術鑑賞交流会	8名（80%）
12月27日（土）	大掃除・生産活動	10名（100%）
1月12日（月祝）	生産活動・交通安全教室	9名（90%）
2月28日（土）	エアロ・音楽発表会	10名（100%）

※次の販売活動を実施した。利用者はローテーションで参加した。（算定は行っていない）

・5月5日（月祝）はびきの市民フェスティバル・8月23日（土）草笛の夕べ・10月5日（日）ふれあいフェスタ・10月18日（土）アンジュ秋祭り・10月26日（日）でんでんカーニバル・11月16日（日）ミートミートフェア・11月29日（土）太子町フリーマーケット

●苦情処理

苦情受付担当者を設け担当者不在の場合でも利用者の状況を詳細に把握するよう相談苦情管理対応シートを作成し、担当者に確実に引き継ぐ体制を敷く。

苦情解決責任者 西井 寛 苦情受付担当者 佐野 益正

- ・苦情はありませんでした。

●事故・ヒヤリハット

主任がリスクマネージャーとして、職員会議で検証し事故防止対策を講じていく。

- ・報告はありませんでした。

■◆送迎サービス（通所サービス共通）

通所促進のため、車両、徒歩による送迎を実施した。

車両による送迎サービスは、マイクロバス、キャラバン、ハイエース、フレンドィ、ステップワゴン、サンバーの計6台で運行した。運転手に業務前にアルコールチェッカーの使用、健康状態の聞き取り等を実施した。

・車両による送迎サービス利用状況（往復＝2回）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
あすか (就B含む)	利用人数	26	27	27	29	25	25	29	28	27	28	27	26	159
	延べ利用回数	975	911	981	1034	790	921	951	926	941	877	887	954	5612
たちばな	利用人数	19	20	18	19	18	19	18	17	17	17	17	17	113
	延べ利用回数	598	564	588	627	506	589	644	533	535	538	511	628	3472

居住サービス部

巣立ちの家（島泉）・はびきの・さくら・野々上・藤井寺・なのはな

（共同生活援助）

●運営方針

利用者が地域において共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて共同生活住居において、入浴、排泄又は食事の介護、相談その他の日常生活上の援助を適切かつ効果的に行うものとする。

●事業所における職員の職種と員数（平成27年3月現在の事業所全体の員数）

- (1) 管理者 1名（9月1日より管理者変更）
- (2) サービス管理責任者 1名 管理者兼務
- (3) 世話人・生活支援員15名 住居により職種が変わる場合あり、また夜間支援員含む

●入居者利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
巣立ちの家 (島泉)	利用定員	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		
	契約利用者数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		
	開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	
	延利用者数	区分2	30	31	30	31	31	30	31	30	31	21	28	30	354
		区分4	60	62	60	62	62	60	62	60	62	62	56	62	730
区分6		60	62	60	62	62	60	62	60	62	62	56	62	730	
はびきの	利用定員	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4		
	契約利用者数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4		
	開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	
	延利用者数	区分3	56	59	54	58	56	56	62	60	61	58	56	62	698
		区分4	30	31	30	31	29	30	31	30	28	28	28	31	357

		区分5	30	31	28	31	29	30	31	30	28	27	28	31	354
な の は な	利用定員		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
	契約利用者数		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
	開所日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
	延利用者数	区分3	28	31	30	31	0	0	0	0	0	0	0	0	120
		区分4	30	31	30	31	57	60	60	58	59	59	56	62	593
区分5		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	
		区分6	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
野 々 上	利用定員		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	契約利用者数		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	開所日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
	延利用者数	区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		区分4	60	62	60	62	62	60	60	60	62	62	56	62	728
藤 井 寺	利用定員		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	契約利用者数		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	開所日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
	延利用者数	区分3	60	62	60	62	62	60	62	60	62	62	56	31	699
		区分4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	31
な の は な	利用定員		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	契約利用者数		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	開所日数						31	30	31	30	31	31	28	31	365
	延利用者数	区分3					4	22	27	26	24	24	25	27	179

※1) 8月1日より、なのはなを開設し新規入居者1名。

※2) なのはなで3月に11回の体験入居者1名。(上記の表に含めず)

●サービスの内容

(1) 個別支援計画の作成

サービスは、「個別支援計画」に基づいて行う。サービス管理責任者が作成し、利用者の同意をいただく。なお、「個別支援計画」は利用者に交付する。

- 定期的な面談を行いアセスメントから課題やニーズを収集し、サービス管理責任者が利用者、保護者の同意のもと個別支援計画を作成しサービスを提供した。

(2) 日常生活支援

基本的な生活習慣の習得と、個々の生活課題にあわせて居室の清掃、配膳、食器洗い、洗濯物片付け、小遣い管理等の支援を行う。

- 入居者の日常生活の課題にあわせて支援を行った。

(3) 余暇活動

心身のリフレッシュと利用者同士の交流を図るとともに、社会性を養い、意欲向上をめざす。また個々の外出支援、ホーム間の交流会等を通じて社会資源を活用する機会を提供できるように取り組む。

・次の表の通り余暇活動等の行事を実施した。

	巣立ちの家 (島泉)	はびきの	さくら	野々上	藤井寺	なのはな
4月		5日(土) 誕生日会				
5月	25日(日) 誕生会外出 25日(日) 避難訓練		17日(土) 外出 17日(土) 避難訓練		21日(水) 誕生会外出 21日(水) 避難訓練	
6月	7日(土)・8日(日) 巣立ちの家一泊旅行	7日(土)・8日(日) 巣立ちの家一泊旅行	7日(土)・8日(日) 巣立ちの家一泊旅行	7日(土)・8日(日) 巣立ちの家一泊旅行	7日(土)・8日(日) 巣立ちの家一泊旅行	
7月		12日(土) 避難訓練				
8月	27日(水) 誕生会食事会	14日(木) バーベキュー				
9月	7日(日) 誕生会外出		2日(火) 避難訓練	22日(月) 避難訓練	22日(月) 誕生会食事会	
10月				24日(金) 夕食会		
11月	8日(土) 巣立ち交流会 5日(木) 避難訓練	8日(土) 巣立ち交流会 8日(土) 避難訓練	8日(土) 巣立ち交流会	8日(土) 巣立ち交流会	8日(土) 巣立ち交流会 13日(土) 避難訓練	8日(土) 巣立ち交流会
12月	21日(日) 誕生会外出	13日(土) 誕生日・クリスマス会	28日(日) おもちつき会			
1月		10日(土) 誕生日・新年会 避難訓練	10日(土) 避難訓練			
2月	21日(日) 誕生会外出			14日(土) 夕食会・誕生会		
3月		7日(土) 誕生会外出	3日(水) ひなまつり会			

※随時、ガイドヘルパー制度を活用し個別での外出も実施した。

(4) 自立に向けての支援

社会的自立を目的として個々の生活状況に合わせた、一人外出、公共交通機関の利用、事業所通所における自力通所、就労にむけた取り組み等を行う。

(5) 健康管理

入居者の健康維持のため通院支援を行う。個々の健康状態にあった食事内容にも配慮しながら健康な生活を送れるよう支援する。

- ・内科、歯科、心療内科、精神科等必要な通院支援を適時実施した。

●苦情処理

苦情受付担当者を設け担当者不在の場合でも利用者の状況を詳細に把握できるよう相談苦情管理対応シートを作成し、担当者に確実に引き継ぐ体制を敷く。

苦情解決責任者 西井 寛 苦情受付担当者 阪上 敏子

- ・苦情はありませんでした。

●事故・ヒヤリハット

担当者がリスクマネージャーとして、職員会議で検証し事故防止対策を講じていく。

- ・報告件数 事故 4件 ヒヤリハット 0件

5. 非常災害対策

消防（防災）計画に測り、下記のとおり管理者・責任者等を定めて、火災・震災・その他の災害時の人命の安全ならびに災害防止を図る。また、避難訓練を実施し、災害予防の意識を高めた。また、あすか、たちばなにAEDを設置しており常時正常に作動するか確認も行っている。

防火管理者（あすか） 西井 寛（たちばな）西井 寛

火元責任者（あすか） 高橋 亘（たちばな）堀内 克弥

防火管理者（島 泉） 阪上 敏子（はびきの）阪上 敏子（さくら）阪上 敏子

9月より、府営住宅のグループホームで防火責任者を選定した。

防火責任者（野々上） 阪上 敏子（藤井寺） 西井 寛

（なのはな）阪上 敏子

火元責任者（島 泉） 今西三千代（はびきの）中間 玲子（さくら）小川 順子

（野々上） 大畑八重子（藤井寺） 村上ゆかり

（なのはな）吉井 厚子

・避難訓練実施状況

5月16日（金） たちばな 地震・火災を想定し自主避難訓練。

5月17日（土） 巣立ちの家 さくら 火災を想定し自主避難訓練。

5月19日（月） あすか 火災を想定し自主避難訓練。

5月21日（水） 巣立ちの家 藤井寺 火災を想定し自主避難訓練。

5月25日（日） 巣立ちの家 島泉 火災を想定し自主避難訓練。

6月30日（火） 巣立ちの家 野々上 地震を想定し自主避難訓練。

7月12日（土） 巣立ちの家 はびきの 地震を想定し自主避難訓練。

11月 5日（木） 巣立ちの家 島泉 地震、火災を想定し自主避難訓練。

- 11月 6日（金） あすか 火災を想定し消防署員立ち合いで避難訓練。
- 11月 8日（日） 巣立ちの家 はびきの 火災を想定し自主避難訓練。
- 11月13日（木） 巣立ちの家 藤井寺 地震、火災を想定し自主避難訓練。
- 11月18日（水） たちばな 火災を想定し消防署員立ち合いで避難訓練。
- 1月 9日（金） 巣立ちの家 なのはな火災を想定し自主避難訓練。
- 1月10日（土） 巣立ちの家 はびきの 火災を想定し自主避難訓練。
- 1月10日（土） 巣立ちの家 さくら 火災を想定し自主避難訓練。
- 1月19日（月） 巣立ちの家 野々上 火災を想定し自主避難訓練。

・消防設備点検実施状況

（機器点検・総合点検）

- 4月10日（木） あすか・たちばな・巣立ちの家（島泉）・さくら・藤井寺
- 4月11日（金） 野々上・はびきの
- 10月23日（金） あすか・たちばな・巣立ちの家（島泉）・藤井寺
- 10月24日（土） 巣立ちの家 さくら はびきの 野々上

※1月 9日（金） 巣立ちの家 なのはな 防火対象物届提出

8月 6日（木） たちばな避難口誘導灯交換、巣立ちの家島泉さくら火災報知設備バッテリー交換

6. 地域交流への取り組み

- ・地域の中学校労働体験実習の受け入れを行った。

たちばな 6月17日（火）～18日（水） 峰塚中学校生徒 2名

- ・地域の中学校支援学級の交流学习の受け入れを行った。

たちばな 6月19日（木） 高鷲南中学校生徒 3名

- ・支援学校高等部の体験実習の受け入れを行った。

あすか 7月24日（金） 富田林支援学校生徒 1名

25日（月） 富田林支援学校生徒 1名

8月 7日（火） 富田林支援学校生徒 1名

8日（木） 富田林支援学校生徒 1名

18日（月） 富田林支援学校生徒 1名

22日（火） 富田林支援学校生徒 1名

たちばな7月23日（水） 富田林支援学校生徒 1名

31日（木） 富田林支援学校生徒 1名

8月 6日（水） 富田林支援学校生徒 1名

8月 7日（木） 富田林支援学校生徒 1名

8月 8日（金） 八尾支援学校生徒 1名

8月11日（月） 八尾支援学校生徒 1名

- ・GHでは自治会行事（除草作業、会議など）の参加につとめた。

- ・地域バザーや行事に参加し交流を深め障がい者福祉の理解につとめた。
- ・ガイドヘルパー養成研修の受講生の受け入れを実施した。

7. 職員健康管理

- ・11月26日（水）一部実費負担でインフルエンザ予防接種を実施した。
- ・1月28日（水）恵生会病院の訪問による健康診断を実施した。

8. 職員研修

- ・大阪府社会福祉協議会等主催の外部研修に参加し随時、職員会議で報告や内部研修を実施し職員のスキルアップを図った。また、職員の課題の整理や意見を聞き取るため懇談を実施した。

事業所	受講日	研修内容
たちばな	4月30日（水）	施設見学 医療福祉センター すくよか
巢立ちの家	5月28日（水）	感染症・食中毒予防対策講習会
たちばな	6月 4日（水）	感染症・食中毒予防対策講習会
あすか・たちばな	6月11日（水）	はちねっと合同学習会 利用者の立場に立ったサービス等利用計画と個別支援計画の視点と整合性について
あすか・たちばな	7月10日（木）	障がい児者施設課程 一日目
あすか・たちばな	7月17日（木）	保健師・看護師研修会 福祉施設における感染症対策について
あすか・たちばな	7月18日（金）	障がい児者施設課程 二日目
巢立ちの家	7月24日（木）・25日（金）	全国グループホーム等研修会
たちばな	8月 5日（火）	障がい者支援員研修（主任クラス）
あすか	10月7日（火）	人権・同和問題企業啓発講座
あすか	10月12日（日）～14日（火）	スバルトータルプランニング㈱の協力による所外研修
本部	10月16日（木）	社会福祉法人会計の簿記上級講座（簿記会計編）一日目
本部	10月23日（木）	社会福祉法人会計の簿記上級講座（簿記会計編）二日目
本部	10月30日（木）	社会福祉法人会計の簿記上級講座（簿記会計編）三日目
あすか・たちばな	10月29日（水）	障がい児者施設課程 三日目
あすか	12月1日（月）～3日（水）	粉浜作業指導所の協力による所外研修
本部	11月15日（土）	社会福祉会計簿記認定試験直前対策講座
あすか	11月18日（火）	感染症予防対策講習
本部	11月13日（木）	社会福祉法人会計の簿記上級講座（財務管理編）一日目
巢立ちの家	11月17日（月）	管理者研修
本部	11月20日（木）	社会福祉法人会計の簿記上級講座（財務管理編）二日目
本部	11月27日（木）	社会福祉法人会計の簿記上級講座（財務管理編）三日目
あすか	12月 6日（土）	自閉症支援のための基礎講座 自立した生活に向けて
本部	11月13日（木）	社会福祉法人会計の簿記上級講座（財務管理編）一日目

9. スポーツ振興事業

●競技種目

フライングディスク競技（アキュラシー・ディスタンス）

●事業内容と目的

全国障がい者スポーツ大会の種目の一つであるフライングディスク競技の普及と地域振興並びに競技力の向上を図ることにより、障がい者一人ひとりの運動能力を高め、社会参加の促進と健康の維持増進を図る。また地域において競技大会を開催することにより、障がい者スポーツ人口の拡大とレベルアップを図るとともに地域における障がい者スポーツの大会の実施体制、運営力の確立を目指す。

（1）平成26年度羽曳野市障がい者スポーツ教室等事業（業務委託）上半期実績

	開催日	参加数	開催会場	練習内容
1	4月19日（土）	16名	グレープヒルスポーツ公園	定期練習会
2	5月31日（土）	19名	グレープヒルスポーツ公園	定期練習会
3	6月14日（土）	18名	グレープヒルスポーツ公園	定期練習会
4	7月12日（土）	18名	グレープヒルスポーツ公園	定期練習会
5	8月30日（土）	25名	はびきのコロセアムサブアリーナ	定期練習会
6	9月 6日（土）	13名	グレープヒルスポーツ公園	定期練習会
7	10月 4日（土）	16名	グレープヒルスポーツ公園	定期練習会
8	11月15日（土）	19名	グレープヒルスポーツ公園	定期練習会
9	12月13日（土）	17名	はびきのコロセアムサブアリーナ	定期練習会
10	1月24日（土）	21名	はびきのコロセアムサブアリーナ	定期練習会
11	2月21日（土）	29名	はびきのコロセアムサブアリーナ	定期練習会
参加数計		211名		

- ・人員配置 専門初級スポーツ指導員 2名配置
- 役員（法人職員） 2名配置 4名／回
- 市民ボランティア 随時（羽曳野社協との連携にて募集）

（2）第14回全国障がい者スポーツ大会 大阪府予選会参加実績

開催日	参加数	開催会場	大会・練習内容
5月25日（日）	11名	ファインプラザ大阪	第14回全国障がい者スポーツ大会大阪府予選会